

ログハウスで大臣賞

キハタトレ「木の香」耐火や省エネ評価
デザイン建設

震性、省エネ構造と、ログハウスで介護施設を造ったという公共性が評価され最高賞の国土交通大臣賞を受賞した。

表彰式には、「木の香」の施主の喜畑社長（54）と、設計・管理を担当した角谷隆文1級建築士（54）をはじめ、関係者ら約100人が出席。角谷1級建築士が加古貫一郎国交省住宅局木造住宅振興室長から表彰状を受け取った。喜畑社長は「今後もログハウスを使って学校や介護施設などの公共施設を造っていきたい」と話している。

㈱キハタトレ・デザイン（本社＝大阪市鎌田町、喜畑隆文社長）のログハウス型サービス付き高齢者向け住宅「木の香」が、8日午後5時から東京都千代田区の財団法人会館で開かれた「2012（平成24）年度ログハウス建築コンテスト」（㈱日本ログハウス協会主催）で国土交通大臣賞（ログハウス大賞）を受けた。

同コンテストは、日本ログハウス協会（中川健一会長、126事業所）が主催し、毎年6月9日の「ログの日」に合わせ

て表彰式を行っているもの。1989（平成元）年から始まり今年で24回目。

本年度は各事業所から2010（同22）年度と11年度に建てられたログハウス約70物件の応募があり、同コンテスト審査委員会（委員長＝安藤邦廣・筑波大学芸術学系教授）がデザイン性や先進性、省エネ性、価格などを基準に審査。実地調査の結果と合わせて総合的に判断し、国土交通大臣賞、農林水産大臣賞、優秀賞、特別賞を決定している。

「木の香」は、同社が3月末に同町に建設した介護施設で、耐火・耐



加古・国交省住宅局木造住宅振興室長から表彰状を受け取る角谷1級建築士（左）と、京都千代田区の商工会館で